

業務名：奈良県立医科大学新キャンパス建設工事基本・実施設計業務
業務番号：設 02－1号

【取扱注意】

●配置予定技術者（企業）の経験及び能力（技術点その1）

評価項目	評価の着目点			技術点		
	判断基準			評価点	小計	合計
配置予定技術者（企業）の経験及び能力※2	技術者資格	管理技術者	管理技術者の実務経験を次のとおり評価する。 ①管理技術者としての実務経験が10年以上ある。 ②管理技術者としての実務経験が5年以上10年未満ある。 ③上記①②以外	① 4 ② 2 ③ 0	4	34
		（意匠建築）	主任担当技術者資格を次のとおり評価する。 ①一級建築士 ②二級建築士 ③上記①②以外	① 6 ② 2 ③ 0	6	
		構造	主任担当技術者資格を次のとおり評価する。 ①構造設計一級建築士 ②一級建築士 ③二級建築士 ④上記①②③以外	① 6 ② 4 ③ 2 ④ 0	6	
		電気	主任担当技術者資格を次のとおり評価する。 ①設備設計一級建築士 ②一級建築士 ③二級建築士又は建築設備士 ④上記①②③以外	① 6 ② 4 ③ 2 ④ 0	6	
		機械	主任担当技術者資格を次のとおり評価する。 ①設備設計一級建築士 ②一級建築士 ③二級建築士又は建築設備士 ④上記①②③以外	① 6 ② 4 ③ 2 ④ 0	6	
	業務経験	企業の元請実績	平成17年4月1日以降、本業務の公告日までに完了した同種業務又は類似業務の元請実績（共同企業体で受注した場合は、出資比率が20%以上に限る。）を次のとおり評価する。 同種業務：学校教育法に基づく大学(短期大学含む)又はこれと同等の機関で複数棟(うち1棟の延べ面積が8,000㎡以上)の新築工事に係る設計業務 類似業務：学校教育法に基づく大学(短期大学含む)又はこれと同等の機関で複数棟(うち1棟の延べ面積が4,000㎡以上)の新築工事に係る設計業務 ①同種業務の実績がある ②類似業務の実績がある ③上記①②以外	① 6 ② 2 ③ 0	6	

●業務の実施方針（技術点その2）

評価項目	評価の着目点		技術点		
	判断基準		評価点	小計	合計
実施方針・実施フロー・工程表・その他	業務理解度	実施方針について、目的、条件及び内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	※※	5	16
	組織力（取組意欲）※2	組織力を次のとおり評価する。 ①構造、電気設備及び機械設備主任担当技術者の全てに雇用関係（※1）がある。 ②構造、電気設備又は機械設備主任担当技術者のいずれか2名に雇用関係（※1）がある。 ③構造、電気設備又は機械設備主任担当技術者のいずれか1名に雇用関係（※1）がある。 ④上記①②③以外	① 6 ② 4 ③ 2 ④ 0	6	
	実施手順	業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。	※※	5	

※1 雇用関係とは、技術提案書の提出の締め切り以前に3ヶ月以上の雇用関係があることとする。
※2 「配置予定技術者の資格・企業の元請実績」、「組織力（取組意欲）」の状況等を明確に判断できる資料が添付されていない場合は、加点しない。

●評価テーマ（技術点その3）

評価項目	評価の着目点		技術点		
		判断基準	評価点	小計	合計
評価テーマに関する技術提案	評価テーマ	学生及び教職員の様々なコミュニケーションを誘発する設計方針について、的確で効果的な提案を優位に評価する。 （※3 ※4 ※5）	※※	10	50
	「良き医療人を育む充実した学習・教育環境を整備するための設計上の工夫について」	多目的な利用形態に対応すると共に、学外への情報発信の場としても利用出来るような設計方針について、的確で効果的な提案を優位に評価する。 （※3 ※4 ※5）		10	
		様々なコミュニケーションを阻害することなく、セキュリティ面にも配慮された設計方針について、的確で効果的な提案を優位に評価する。 （※3 ※4 ※5）		10	
評価テーマに関する技術提案	評価テーマ	多目的な利用に柔軟に対応する可変性を確保し、維持管理が容易となるような設計方針について、的確で効果的な提案を優位に評価する。 （※3 ※4 ※5）	※※	10	
	「LCC（ライフサイクルコスト）削減を考慮した設計上の工夫について」	自然エネルギーを積極的に取り入れ、省エネ・省コスト・省CO2を継続的に推進する設計方針について、的確で効果的な提案を優位に評価する。 （※3 ※4 ※5）		10	

- ※3 具体的な製品名等の記載については評価しない。
- ※4 業務内で検討し決定する具体的な内容については評価しない。
- ※5 視覚表現を記載する場合は、文章を補完するための必要最小限なものとし、内容欄の枠の中に必ず記載するものとする。当該項目と関係しない複数の項目が含まれる視覚的表現は評価しないものとする。また、具体的な設計図、模型（模型写真を含む）、透視図（コンピューターグラフィックによるものを含む）を使用した場合は評価しない。

- ※※ 評価点は、審査員による5段階評価（100％・75％・50％・25％・0％）を行い、その平均点により算出する。
技術評価点は、小数第3位を切り捨てし小数第2位まで算出する。

●総合評価の方法

■評価値の算出方法

評価値＝価格評価点＋技術評価点

□価格評価点の算出方法

価格評価点＝（価格評価点の配分点）×（1－入札価格／入札書比較価格）
入札書比較価格とは、予定価格の消費税及び地方消費税抜きの金額をいう。
価格評価点の配分点は、20点とする。

□技術評価点の算出方法

技術評価点＝60点×（技術評価の得点合計／技術評価の配点合計）
技術評価点の配分合計＝技術点その1＋技術点その2＋技術点その3